

助成者	津留 歴子	活動期間	2015年4月～2018年3月
所属機関	(株)オルター・トレード・ジャパン	職名	産地責任者

## インドネシア・エビ養殖地河川流域住民による環境整備活動

【活動場所】インドネシア シドアルジョ県

【事業目的】シドアルジョはかつて魚やエビの粗放型養殖で自然と共生できていた地域であったが、近年急激な人口の増加により家庭污水による水質劣化やゴミ問題などの環境問題が年々深刻になっており、多くの地元住民を支える水産養殖の将来を脅かしている。本事業は伝統的粗放型エビ養殖に従事する生産者が、当地域の水環境を守りたいとの願いから、地元主要河川の一つであるバケプ川流域の住民の環境への意識を高め、河川環境・水質改善活動を持続的に実践していくことを目的に実施する。

住民へゴミ箱の配布



環境整備事業ワークショップ



### 【活動内容】

地域のエビ養殖池生産者と、冷凍エビ工場を運営するオルター・トレード・インドネシア社スタッフが設立したKOIN（NGO）が主体となり、具体的に以下の活動をおこなった。

- ①環境教育：小中学校へ環境出張授業を計25校へ実施し約750名受講
- ②家庭廃棄物マネジメント：クドゥン・ペル村、ペルミサン村、クボクヤン村の3村で実施合計1080世帯が参加し、各世帯1個のゴミ箱を配布（左上写真）
- ③コミュニティ環境ワークショップ：地域住民対象にゴミの管理（ゴミ分別、収集、リサイクル）と家庭ゴミ・排水による環境問題のワークショップを計15回実施し約400名参加
- ④河川清掃活動 ⑤植林活動：養殖池地域へマングローブ苗木を計6000本植樹

### 【活動成果】

3村でのゴミ廃棄物管理では、2村において地元住民自治組織が設立され、自立的な活動として機能し、美しい村へ変貌を遂げた。（1村はリーダーと村長の急死があり、新村長へ自治組織設立の依頼中）活動主体であるKOINと住民リーダーの強い信念と実行力によって大きな成果が出ており、周辺の村へも評判が広がっている。